

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標		
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースの関係で適切である	8	国の定めた基準以上の広さを確保し、スペースは児童の特性に応じて適切に配置・利用しております。			
	2	職員の配置数は適切である	8	職員配置数は国が基準とする配置数を確保しております。			
	3	生活空間は、児童にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	5	3	段差もあまり無く、角があるところにはコーナークッション等を取り付けております。	事業所入口のみ段差がありますが、現在は車いすの利用はなく、必要に応じて整備が必要だと考えています。	
	4	生活空間は、清潔で心地よく過ごせる環境になっている。また、児童達の活動に合わせた空間となっている	8	必要最小限の物を置くようにしており、室内は概ね段差無く心地良く過ごせる空間となっております。			
	5	必要に応じて、児童が個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっている	8	必要最小限の物を置くようにしており、室内は概ね段差無く心地良く過ごせる空間となっております。			
業務改善	6	業務改善を進めるためPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参加している	8	毎日の朝礼時や、月一回のリフレクション会議にて振り返りや業務改善に努めております。			
	7	保護者様向け評価表を活用するなどによりアンケート調査を実施して保護者様の意向等を把握し、業務改善につなげている	8	年に一度のアンケート調査での集計内容を職員間で共有しながら業務改善に努めております。			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげている	8	毎日の朝礼時に職員間で話しをして改善に努めております。			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	8	現時点では第三者評価は実施できておりません。	第三者による外部評価については今後の課題として検討してまいります。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されている	8	オンライン研修や事業所研修などで積極的に研修の機会を確保しております。			
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されている	8	支援プログラムを作成し、令和7年度に向けた公表準備をしております。	支援プログラムを作成し、令和7年度に向けた公表準備をしております。		
	12	個々の児童に対してアセスメントを適切に行い、児童と保護者様のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	8	児童発達支援管理責任者が中心となって作成しております。			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、児童の支援に関わる職員が共通理解の下で、児童の最善の利益を考慮した検討が行われている	8	職員全員の共通理解の下で児童の最善の利益を考慮しております。			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われている	8	職員全員で共通認識を持って日々の支援に反映させております。			
	15	児童の適応行動の状況を標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認している	8	法人で作成し、統一されたアセスメントシートを使用しております。			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」「家族支援」「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、児童の支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	8	児童の特性や成長状況に合わせた内容へ移行していくことができるよう立案しております。			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っている	8	児童の特性や課題に応じて活動プログラムを話し合い、常にチームで立案しております。			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	8	イベントや、季節の製作も取り入れることで固定化しないよう努めております。			
	19	児童の状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせることで児童発達支援計画を作成し、支援が行われている	8	1人ひとりの特性に応じた目標を設定し、個別活動、集団活動を組み合わせた支援をおこなっております。			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っている	8	毎朝必ず打ち合わせをおこない支援の内容や役割分担環境設定などをおこなっております。			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	8	送迎や退勤時間の差があるため、不在の職員には記録を残し共有しております。			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証改善につなげている	8	支援内容やその日の体調等を記録し、気になったことは改善や検証に取り組んでおります。			
	23	定期的にモニタリングを行い児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っている	8	定期的にモニタリングをおこない、現状の把握をして見直しの必要性を判断しております。			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせることで支援を行っている	8	ガイドライン総則の基本活動を適切に選択し、複数組み合わせ、保護者様のご意向や児童の課題を判断したうえで、支援内容を設定しております。			
	25	児童が自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っている	8	日頃から児童にどちらが良いか選択できるよう、複数の教材などを準備しております。			
	関係機関や保護者様との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その児童の状況をよく理解した者が参加している	8	担当者会議に参加し、助言を受け連携に努めております。		
		27	地域の保健、医療(主治医や協力医療機関等)、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えている	6	2	担当者会議に参加し、助言を受け連携に努めております。	医療関係との連携がないため、今後医療関係との連携も考慮してまいります。
		28	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、児童の下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	8	保護者様から学校行事や時間変更を教えてください。学校との情報共有や連絡調整をおこなっております。また、送迎時に学校の先生方と児童の様子を伝え合うことで適切な支援をおこなえるよう努めております。		
		29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	8	相談支援専門員を交えて、幼稚園・保育園とは電話連絡や、相互で訪問をするなどして、情報提供を受けて、より良い支援につながるよう努めております。		
30		学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	5	3	今後利用児童が卒業を迎えることとなった場合は、移行先への十分な情報提供のため書類を整備し、情報提供に努めてまいります。	今後、利用児童が卒業を迎えることとなった場合は、移行先への情報提供の高書類を作成いたします。	
31		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けている	8	担当者会議に参加し、助言を受け、専門機関との連携に努めております。	今後必要に応じて研修等を受ける機会を設けるよう検討してまいります。		
32		放課後児童クラブや児童館との交流など外部との活動する機会がある	8	実施できておりません。	プライバシーを尊重したいというご意向の保護者様もおられることから、コロナ収束後は改めて保護者様のご意向をうかがいながら検討してまいります。		
33		(自立支援)協議会等へ積極的に参加している	5	3	参加できる時には参加しております。	案内等あった時には参加できるよう努めてまいります。	
34		日頃から児童の状況を保護者様と伝え合い、児童の発達状況や課題について共通理解を持っている	8	担当者会議など、話し合いの場を通してそれぞれの内容について共通理解を持っております。			
保護者様への説明責任等	35	家族への対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレントトレーニング)や家族等の参加ができる研修の機会や情報提供等を行っている	8	保護者様からご質問ご相談があれば職員間で話し合いアドバイスしております。	相談等あれば対応しているが、それに向けての研修などはできていないので、今後取り組んでまいります。		
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	8	9	契約時に重要事項説明書、契約書に基づき説明をおこなっております。内容に変更があった際には保護者様に丁寧なご説明を心掛けております。		
	37	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童や保護者様の意思の尊重、児童の最善の利益の優先考慮の観点等を踏まえて、児童や家族の意向を確認する機会を設けている	8	児童の最善の利益を優先考慮し、児童や家族の意向を確認する機会を設けております。			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者様から放課後等デイサービス計画の同意を得ている	8	児童発達支援計画を示しながら説明をおこない、同意を得ております。			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか	8	送迎時や電話等で相談を受けた際には、随時対応をおこなう等、日頃から相談しやすい環境作りへの配慮にも心掛けております。			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者様同士で交流する機会を設ける等している。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援を行っている	2	6	本年度は、感染症予防の観点から、父母の会を開催する機会を持つことができませんでした。	保護者様のご意見に配慮しながら交流機会を検討してまいります。	
	41	児童や保護者様からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	8	ご相談や申し入れについては迅速に対応し、全職員で情報共有を徹底していき、体制を整えております。			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を児童や保護者様に対して発信している	8	季節ごとのCOMPASSだよりや公式WEBサイトのブログ、そして、事業所からは毎月子どもカレンダーを発行しております。			
	43	個人情報の取扱いに十分留意している	8	個人情報に関する書物は鍵付き書庫にて保管しており取り扱いは十分に留意しております。			
	44	障がいのある児童や保護者様との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	8	児童や保護者様へ、わかりやすい情報伝達を心掛けております。			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	7	現段階では実施できておりません。	今後の課題として取り組んでまいります。	
	非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	8	各種マニュアルは整備し、事業所に掲示しております。		
47		業務継続計画(BCP)を策定するとともに、(非常災害)の発生に備え、定期的な避難、救出その他必要な訓練を行っている	8	定期的に地震、火災、風水害、不審者への対応訓練や避難訓練を実施しております。			
48		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の児童の状況を確認している	8	契約時やその都度で保護者様に十分な確認を行い職員全体に周知し把握しております。			
49		食物アレルギーのある児童について、医師の指示書に基づく対応がされている	8	現在対象児童はいませんが、定期的な情報更新に努めてまいります。			
50		安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われている	8	定期的に研修を実施しております。			
51		児童の安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知している	8	利用児童の安全のために保護者様へ内容等について周知していくよう努めております。			
52		ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討している	8	ヒヤリハットが発生した場合には直ちに報告書を作成し、情報共有に努めてまいります。			
53		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	8	研修を実施し虐待防止について知識の向上に努めてまいります。			
54		どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、児童や保護者様に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	8	生命または身体を保護するためにやむを得ず必要となる場合には保護者様の承諾を得るようしております。			

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体でおこなった自己評価です。